

第14回津家庭裁判所委員会議事概要

1 開催日時

平成22年7月1日(木)午後1時15分～午後4時00分

2 開催場所

津家庭裁判所B館4階大会議室

3 出席者

(委員)

荒木利芳, 飯島泰, 井面三砂, 北角収, 清水力, 谷口都子, 西口和之, 林道春(委員長), 堀内照美, 三宅伸幸, 森田明美

(五十音順, 敬称略)

(事務担当者)

事務局長, 首席家裁調査官, 首席書記官, 次席家裁調査官, 訟廷管理官, 家裁調査官, 総務課長, 総務課課長補佐

4 議事

(1) 開会の言葉

(2) 所長あいさつ

(3) 委員の紹介

(4) 委員長の選任について

委員長に林委員を選出することが了承された。

(5) 家裁調査官による説明及び制度説明のDVD上映

面会交流の現状等について説明した。

(6) 意見交換

今回のテーマである「面会交流について」の意見交換の要旨は、別紙のとおり

(7) 次回の意見交換のテーマについて

「家庭裁判所における国民参加－特に家事調停委員及び参与員の役割

等について」

(8) 次回開催日 平成23年1月18日(火)午後1時15分

(9) 閉会の言葉

(別紙)

意見交換の要旨 (○委員, □事務担当者)

- 裁判所の手続を利用せずに離婚する夫婦にも、面会交流のリーフレットを広く配布し、活用してもらえば、当事者が子育ての大切さを理解するきっかけになるのではないか。
- 部数の関係上、制限なく配布することはできないが、今後の検討課題とさせていただきます。
- 面会交流について相談できる外部機関とのネットワーク作りを進めてはどうか。
- 裁判所としても、円滑な面会交流のために外部機関との連携に関心を持たなければならないと考えている。
- 面会交流の実施に当たり、子どもの祖父母を参加させた方がうまくいくケースもあるのではないか。
- 子どもの趣味（スポーツ等）を通じて面会交流を行うことで、離婚後も良好に面会交流を継続している親子の例がある。家庭裁判所でも、面会交流の調停条項等を定める際に、このようなアプローチを検討してはどうか。
- 子どもの祖父母が入った形での面会交流については、新聞報道で同様のケースが紹介されていたことを承知している。祖父母の協力を得た面会交流も事情によっては積極的に検討できると考えている。また、面会交流の条項を定める際には、色々なアプローチを検討していきたいと考えている。
- 面会交流の解説DVDを相談機関の相談員にも視聴してもらおう機会を作れば、裁判所の手続を利用する前段階の相談者に良いアドバイスができるのではないか。
- DVDの視聴には、その中身が一人歩きしないためにも家庭裁判所調査官による十分な説明が不可欠であり、現状では当事者以外への視聴は原則として行っていない。